

# 三條別院のご案内

真宗大谷派 三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

## 三條別院に想う

年に一回、「お取り越し報恩講」に組の団参でお参りさせていただきだけの別院に、この二年間は坊守会長になったご縁では足繁く通うことができました。

そうした中で一人の女性に出会いました。別院のことは何でも知っておられ、また何でもできてしまうスーパーウーマンさんです。いつも裏にいて別院を支えて下さっていますから、皆さんが別院に来られても中々お会いできません。報恩講中は日参です。でもお参りなどももちろんできません。「旅行に行ったら宿で出るハブラシは持ち帰って別院さんのお磨きに持参して」などといったも考えていて下さいます。このたびの御影巡回のために御影をお掛けする台を入れる袋や御影を入れる袋まで作って下さいました。

その彼女が「手伝ってくれる人が段々少なくなってしまう」とポツリと言っておられたのが忘れられません。別院のご近所も徐々に別院が遠くなっているのかもしれない。

しかし、これは私たち自身の問題なのですね。お斎も考えていかなければならないのでしょうか。昨年度よりは松葉幼稚園の先生方に代わって坊守たちが加勢してはみましたが・・・。

立派な別院だと思います。ご修復されて益々

立派になることでしょう。でも、来年五月の御遠忌が済んだら「風が通らなくなった」などとは言わせたくないですね。そのためには、私たちがまず自坊のこと、足元のことから頑張っていくことが大事だと思います。

別院や末寺を支えて下さっている女性たちの思いを、願いをしつかり聞いてみましょう。

参詣は女性が多いのですから。私もお役目のお陰で別院のことを少し知ることができました。女性僧侶のための助音の習礼が計画され、女性も参勤できるようにになりました。御遠忌では女性助音に大勢ご参加いただき、ご一緒にお勤めしたいと願っています。

(第十二組勝覺寺 草間あつ子 氏)

## ○次回の「三條別院に想う」は、

長田 暢 氏 (第十六組善眞寺) より

ご執筆いただきます



## ■朝の人生講座・夏の御文のご案内

本年も左記のとおり朝の人生講座・夏の御文を開催いたします。清々しい朝のひと時を仏法に触れながら三條別院で過ごしてみませんか。



◇日時 八月二十二日(金)～二十五日(月)

午前六時 晨朝 夏の御文拝読

午前六時三十分 人生講座

◇会場 三條別院仮本堂(同朋会館二階)

◇講師・講題

二十二日 佐々木秀英氏(第十組 光圓寺)

「夜明けの前は闇に決まっている」

二十三日 中島義紘氏(三條真宗学院講師)

「釈教歌・今様の世界」

二十四日 安富信哉氏(教学研究所有長)

「人生の今を生きる」

二十五日 光井栄泉氏(第十六組願善寺)

「そのまんま、そのまんま」 ※2

◆人生講座終了後、簡単な朝食をお配りいたします。

※1「日本文学と仏教」というテーマで、講師をかえて全三回の法話があります。第二回は七月の御命日の集い(開催済)、二回目は八月二十三日、三回目は九月二十一日の朝の人生講座で行われます。

※2 宗祖御遠忌法要に向け、「三條別院の歴史に聞く」というテーマで講師のお話を聞いています。今回は光井氏に「三條別院にご縁の深いある御門徒のはなし」をしていただきます。

## ■女性僧侶による音楽法要習礼について

本年のお取り越し報恩講に向けての女性僧侶による習礼がはじまっております。今後の日程は左記のとおりです。

◇習礼期日 九月三日、九月十六日、

十月八日、十月十七日、

十月二十四日、十月二十八日

◇講師 多田 誓 氏 (第十組専徳寺)

※習礼に参加希望の方は、別院までご連絡ください。

## ■御遠忌特別法話(本願寺におけるお齋)

三条市内の料理屋が協力して創作する御遠忌弁当。その一環として浄土真宗にとつての「お齋」とは何かを、歴史の視点からお話しいたできます。

◇期日 九月十二日(金) 十時三十分～十二時

◇講師 西山郷史 氏 (能登教区西勝寺)

「本願寺におけるお齋(精進料理)」について

※詳細は別紙案内チラシをご参照ください。

## ■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日

であります毎月二十八日

に、「御命日の集い」を本

堂にて、日中法要と法話

その後、座談会の場を開

いております。本堂修復

に伴い、一年間仮本堂(同

朋会館二階)でのお勤め

となります。



【7月村山氏(日本文学と仏教①)】

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げております。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

## 【八月二十八日(木)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

## ◎今月の法話講師

高橋 深恵氏 (第十一組願興寺)

◇今後の講師一覧

九月 未定

十月 村手淳史氏 (第二十組光圓寺)

十一月 巨谷 学氏 (第十組善一寺)

十二月 北島栄誠氏 (第十一組長福寺)

## ■定例法話会のご案内

八月の定例法話会は休会となります。次回は九月

から左記の通り開催いたします。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

◇場所 午後一時三十分より(二時間程度)

◇講師 三条別院 仮本堂

◇講師 九月～十二月

富沢慶栄氏(第二十一組超願寺)

## ■別院声明教室のご案内

今年度前半は普通寺院の報恩講のお勤めを中

心に学びます。是非一緒に学びましょう。

◇開催日 八月二十日(水)、九月五日(金)、

十月十六日(木)、十一月十三日(木)

十二月十一日(木)(全五回)

◇時間 午後六時より午後八時まで

◇会場 教区同朋会館(三条別院内)

◇講習内容 正信偈 真四句目下 念仏讃 洵五

◇講師 源川秀教氏(第十一組圓満寺)

◇持ち物 『大谷聲明集 上』、念珠、筆記具

◇参加費 五〇〇円/回

## ■別院書道教室のご案内

◇開催日 毎月二回(第一、第四水曜日)

◇時間 午後六時三十分～八時

◇講師 木原光威氏(新潟県書道協合理事)

◇月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)

## ■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。

しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてますので、お気軽にご相談させていただきます。

※現在、宗祖真向御影巡回を行っております。ご希望の場合は組長様へご相談ください。

## 別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によつて護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、「要望等」ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

### ◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円

### ◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

- ・朝食代 五〇〇円
- ・昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・夕食代 一、三〇〇円程度

## 私たち、別院有志の会です！(会員の声)

有志の会の小林と申します。

私とお寺様のかかわりは、二〇〇〇年の推進員養成講座からでした。それまでは、お寺様は葬式と法事しか頭にありませんでした。まして別院に足を運ぶなんてことは、到底考えら



れませんでした。別院、御坊さまといえば、お取り越しの夜店のイメージでした。

二〇〇〇年のある日、推進員の養成講座があるというのを手次ぎ寺の住職さんからお話をいただき、何のこともよくわからないまま、応募した次第です。結果、今では推進員になってお寺様とかかわりができて、本当によかったと感謝しております。最終の本山での研修では、法名をいただいたときのあの厳粛な雰囲気は今でも忘れられません。

それ以来、手次ぎ寺や別院に行き来するようになり、お寺様とはこういう所なのかと感じ始めた次第です。そうこうしているうちに、別院から有志の会の話がありました。それは、別院の御講が尻すぼみになってきている。普段、別院に足を運んでくれる人が年々少なくなっている。なんとかしなければならぬ、というものでした。

有志の会の活動は、初期の頃は本堂をはじめ屋内の清掃、庭の草取り、側溝の泥あげ等清掃が中心でした。時には暑い日もあり心地よい汗をかき、そのときに別院職員さんが出てくださる冷たい麦茶のおいしさは忘れられません。

今、有志の会は毎月十三日、定例法話に引き続き開催しております。茶話会、ときには屋内の清掃や庭の草取りで汗を流しております。どなたでも参加は自由ですのであなたも参加してみませんか。これから八月には「朝の人生講座」が始まります。有志の会に参加され、私たちが共に聞法し、語り合いませんか。お待ちしております。

(小林興二)

## ◇◇編集後記◇◇

八月四日、院議会が終了しました。輪番交替に伴う会計監査。そして院議会に向けて二〇一三年度の決算書類の作成、監査、責任役員会を経てようやく一連の作業、行事が終わりました。この一か月があわただしく、長かったこと、久しぶりの経験でありました。

思うに別院の予算は、一面では官庁のように上手に使い切ることに。反面、将来のことを見据えて一般家庭のように原資をためて行くこと。このバランスをよく考えて執行してゆきたいものです。

私が別院の職員になる前は、お盆はきつと忙しいに違いないと思っていました。別院には直参のご門徒がいなかったため、意外と暇なようです。教務所の職員も含め、自坊の法務があり九日〜十七日は、教務所はお休みとなり、別院も日直当番がいるだけとなります。

ご修復の工事は松葉幼稚園の夏休みを利用して、園児のいない間にグラウンドのクレイ舗装を完成させる予定です。雨が降ればぬかるみ、天気が続けば砂漠のようになっていたグラウンドがきれいになるのを心待ちにしているところです。幼稚園わきの東門の改修もこれに合わせて行われ大型バスの進入が出来るようになる予定です。さて、この次は今年の報恩講の準備です。立派なお勤めが出来るよう仕事を進めたいと思っています。

(有坂)

※秋彼岸のチャリティーバザーの物品を募集しております。詳しくは別紙をご覧ください。